

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	621-01-01		
事務事業名		大阪府総合体育大会関連事務事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課			連絡先		内線4413
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10 教育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進			項	6 保健体育費
						目	1 保健体育総務費
対象(誰を・何を)		府民の各種スポーツの競技者					
目的(どうしたいか)		府内各地域のスポーツを振興し、その普及発展とアマチュアスポーツの精神高揚を図り、併せて府民の健康づくりと親睦に寄与しようとするもの。					
手段(事業内容)		全13種目(バレーボール、卓球、柔道、剣道、軟式野球、ソフトボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン、バスケットボール、サッカー、弓道、駅伝)33種別の競技について、本市が担当する種目の円滑な大会運営を図る。					

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	366	129	150
人件費	983	973	898
総事業費	1,349	1,102	1,048
うち市負担分	1,349	1,102	1,048

元年度決算主な内訳
【事業費】 負担金:99千円 総合スポーツセンター利用料:30千円

活動指標

指標名	当市における開催日数	単位	日
指標の説明	当市における大阪府総合体育大会の開催日数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2	2	5

参考数値
本市担当種目 【地区大会】 平成30年度:バドミントン 令和元年度:ソフトテニス バレーボール 令和2年度:ソフトボール (中止) バスケットボール 【中央大会】 平成30年度:卓球 令和元・2年度:なし

成果指標

指標名	当市開催の大会参加者数合計	単位	人
指標の説明	大阪府総合体育大会における当市開催種目の大会参加者数合計		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	570	191	425

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 大阪府体育連合・府市教委・大阪体育協会・各市町村体育協会の主催事業であり、スポーツの普及・振興を図るために、今後も継続すべき事業である。なお、更に大会を盛り上げ、安定した大会運営を継続していくためには、より協賛企業等を募るなどの取り組みを強化する必要がある。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		621-01-02		
事務事業名		市民総合体育大会開催事業		事務の種類		
				自治事務(任意のもの)		
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先		
				内線4411		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		1	一般会計
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進		10	教育費
					6	保健体育費
対象(誰を・何を)		青少年の健全育成や市民の健康づくり				
目的(どうしたいか)		大会を通じて競技スポーツの普及発展とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、併せて健康の増進と親睦を図る。				
手段(事業内容)		各種目(ソフトボール、バドミントン、卓球、バレーボール、剣道、柔道、サッカー、バスケットボール、ソフトテニス、テニス)の参加受付及び取りまとめ業務、大会が円滑に進む為の連盟関係者との連絡調整、大会運営を全般的にお願いしている体育協会競技種目連盟への大会運営助成金の拠出事務。				

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	2,522	1,953	2,571
人件費	2,040	1,312	1,718
総事業費	4,562	3,265	4,289
うち市負担分	4,562	3,265	4,289

元年度決算主な内訳
【事業費】 体育協会競技種目連盟への大会運営助成金:1,348千円 総合スポーツセンター利用料:605千円

活動指標

指標名	大会開催日数	単位	日
指標の説明	市民総合体育大会の総開催日数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	30	26	35

参考数値

成果指標

指標名	大会参加人数	単位	人
指標の説明	市民総合体育大会の参加人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2840	1,980	2,614

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民総合体育大会は、スポーツの普及・振興に対する一つの柱的な事業であるため、今後も体育協会競技種目連盟及び中学校体育連盟と連携を取り、市民の健康、体力づくりに寄与する大会として継続させていく事業である。 なお、令和元年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、バスケットボール(一般)とソフトテニス(中学生)が中止となった。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		621-01-03	
事務事業名		スポーツ大会開催事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先 内線4411	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款 10 教育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進		項 6 保健体育費
					目 1 保健体育総務費
対象(誰を・何を)		市民			
目的(どうしたいか)		スポーツ大会を通じて、健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図る。			
手段(事業内容)		市民体育祭、市民マラソン大会、少年サッカー大会、グラウンド・ゴルフ大会を開催している。開催にあたっては、体育協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、グラウンド・ゴルフ協会等、各関係団体と連携、また、一部を民間に委託し実施する。			

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	10,536	7,905	8,353
人件費	7,218	7,107	7,043
総事業費	17,754	15,012	15,396
うち市負担分	16,889	14,422	14,552

元年度決算主な内訳
【事業費】 スポーツ大会開催委託料:7,530千円 賞品代:345千円 3市町グラウンド・ゴルフ大会負担金:30千円
【特定財源】 大会等参加費:590千円

活動指標

指標名	大会日数	単位	日
指標の説明	市民体育祭、市民マラソン大会、少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会等の総開催日数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	18	14	13

参考数値
各大会参加者延べ人数 市民体育祭:4,647人 市民マラソン大会:597人 小学生サッカー大会:80人 (以下グラウンド・ゴルフ) 月例会(8回):1,558人 グラウンドチャンピオン大会:71人 3市町ふれあい交流大会:126人 市長杯大会:219人

成果指標

指標名	全体会の参加人数	単位	人
指標の説明	市民体育祭、市民マラソン大会、少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会等の参加延べ人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	8050	7,298	3,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民体育祭、市民マラソン大会、少年サッカー大会、グラウンド・ゴルフ大会は、いずれも市民に親しまれた大会として継続的に開催しており、今後も市民の健康及び体力づくりに欠かせない事業である。 令和2年度の市民体育祭、グラウンドゴルフ大会の月例4・5月大会・3市町ふれあい交流大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止が決定しており、その他の大会等についても開催の有無を検討するとともに、開催にあたっては、新しい生活様式やガイドライン等に沿った感染防止対策を講じた上で実施する。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	621-01-04				
事務事業名		聖火リレー開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4411		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10	教育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進		項	6	保健体育費
					目	1	保健体育総務費
対象(誰を・何を)		市民					
目的(どうしたいか)		東京2020オリンピック聖火リレーの開催により、オリンピック大会及びスポーツへの市民の機運を高めるとともに、大阪府初の日本遺産である「竹内街道・横大路(大道)」及び世界文化遺産である「百舌鳥・古市古墳群」のそれぞれの歴史的価値のPRを図る。					
手段(事業内容)		共同開催市である藤井寺市や警察等の関係機関との入念な協議・実地調査等を行い、円滑な事業運営を行う。また、聖火リレールートについては、「竹内街道・横大路(大道)」上と、「百舌鳥・古市古墳群」が見える位置に設定し、両資産をPRする。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費		4,000	7,000
人件費		759	1,874
総事業費		4,759	8,874
うち市負担分		4,759	8,874

元年度決算主な内訳
【事業費】 負担金: 4000千円

活動指標

指標名	聖火リレーランナー数	単位	人
指標の説明	聖火ランナーとして走行する人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
		0	12

参考数値
●古市駅西駐車場をスタートし、世界遺産の構成資産である白鳥陵古墳を眺めながら竹内街道をとおる、軽里北交差点から外環状線を北上、野中北交差点を西に向かい、応神陵前交差点をゴールとする約2.8kmの聖火リレーコース

成果指標

指標名	観覧者数	単位	人
指標の説明	聖火リレーに伴う式典や沿道の観覧者数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
		0	6,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 聖火リレーの開催は、オリンピック大会及びスポーツへの市民の機運を高める事業であるとともに、コース上の日本遺産である竹内街道や、世界遺産である白鳥陵古墳や応神陵古墳などの古市古墳群を横目に走ることに伴い、本市の歴史的資産のPRの場となる。課題や改善策としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により1年間延期となり、スタート・ゴール地点、走行する沿道に観客が密集しないよう、広報・HP等での周知や、ミニセレブレーション会場や沿道での警備員・ボランティアスタッフの増員等の感染防止対策、また、式典等の事業内容を簡素化等の見直しが必要となっている。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	621-02-01				
事務事業名		普通救命講習会開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4412		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10	教育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進		項	6	保健体育費
					目	1	保健体育総務費
対象(誰を・何を)		市民					
目的(どうしたいか)		スポーツやレクリエーション活動等において、疾患等の事故が発生した際に適切な処置を行えるよう、心肺蘇生法、AEDの使用法等の救命処置等について講習を受けていただく事で、活動の安全性向上を図る。					
手段(事業内容)		普通救命講習会実施に係る参加者募集の為に広報掲載、使用施設の予約(総合スポーツセンター)、当日受付及び運営補助、当日の準備事務、また、講師については柏原羽曳野藤井寺消防本部に依頼をしているので、開催するにあたっての確認調整を行っている。					

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	35	35	35
人件費	756	531	525
総事業費	791	566	560
うち市負担分	791	566	560

元年度決算主な内訳
【事業費】 コロセウム利用料:35千円

活動指標

指標名	普通救命講習会開催日数		単位	日
指標の説明	普通救命講習会の開催日数			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	2	2	2	

参考数値

成果指標

指標名	普通救命講習会参加人数		単位	人
指標の説明	普通救命講習会の参加人数			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	164	109	160	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 救急救命講習については、プール開放事業や、スポーツ推進事業においては必要不可欠であり、3年に1度、資格の更新が必要なため、定期的な開催が必要である。今後は、事前のWEB講習による受講時間の短縮等の講習内容の見直しの検討も進める。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学校開放等のプール開放事業が中止としたこともあり、本事業も当初6月、7月に開催予定であったが延期する。今後の開催予定については、開催の有無も含め検討中である。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	622-01-01	
事務事業名		スポーツ推進委員関連事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4413	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10 教育費
	施策の方向	2	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり		項	6 保健体育費
					目	1 保健体育総務費
対象(誰を・何を)		羽曳野市スポーツ推進委員				
目的(どうしたいか)		市民に対するスポーツの実技指導及びニュースポーツの普及活動を通して、市民の心身の健全な発達、生きがいのある豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。				
手段(事業内容)		羽曳野市内より各校区毎(小学校区)の担当として概ね2名ずつの委員を選出し、教育委員会が委嘱する。生涯スポーツの推進役として市民の求めに応じてスポーツの実技指導を行う。また、市民のスポーツ活動の促進の為、スポーツ団体のみならず、学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツ関連の行事や事業に協力している。				

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	1,877	1,852	2,159
人件費	1,890	1,897	1,874
総事業費	3,767	3,749	4,033
うち市負担分	3,767	3,749	4,033

元年度決算主な内訳
【事業費】 報酬: 1,528千円 食糧費: 45千円 総合スポーツセンター利用料: 43千円 負担金: 36千円 被服費: 44千円 消耗品費: 127千円 印刷製本費: 29千円

活動指標

指標名	定例会の開催回数	単位	回
指標の説明	定例会として、イベント等に係る協議・調整等の会議及びニュースポーツ等の実技研修会の開催回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	12	11	12

参考数値

成果指標

指標名	自主イベントの開催回数	単位	回
指標の説明	「ニュースポーツのつどい」と題した、市民が無料で気軽に参加できる、バウンスボール、カローリング等の体験イベントの開催回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	3	2	4

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市全域における社会体育及び生涯スポーツ等の普及を担っており、市内におけるスポーツの普及や推進に必要な事業である。また、各小学校区ごとに委員が選出されていることから、市民との直接的な情報交換の窓口として、地域スポーツの振興に市民の意見が反映できている。今後、ニュースポーツの普及イベント等の周知を一層図るとともに、地域単位での身近なスポーツの更なる普及活動を拡大することが望まれる。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	622-01-02		
事務事業名		スポーツ関連団体支援事業			事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課			連絡先	内線4411・4412	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10 教育費
	施策の方向	2	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり			項	6 保健体育費
	対象(誰を・何を)	羽曳野市内のスポーツ団体					目
目的(どうしたいか)		スポーツ関係団体の組織の充実に向けた活動支援及び相互協力を促進することにより、市民が身近なスポーツに親しみ、健康的で心豊かな生活の実現をめざす。					
手段(事業内容)		体育協会・スポーツ少年団・ゲートボール協会の大会や講習会等に対する助成金の拠出及び団体事業の連絡調整等の関連業務を行う。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	3,547	3,255	3,660
人件費	2,796	3,312	3,295
総事業費	6,343	6,567	6,955
うち市負担分	6,343	6,567	6,955

元年度決算主な内訳
【事業費】 ゲートボール協会講師謝礼:30千円 ゲートボール・ウエイトリフティング・軟式野球盾, カップ代:35千円 ゲートボール協会助成金:160千円 スポーツ少年団助成金:510千円 体育協会助成金:2,520千円

活動指標

指標名	助成団体数	単位	団体
指標の説明	羽曳野市が助成金を拠出している団体数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	32	32	30

参考数値
<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会(15団体加盟) ・スポーツ少年団(17団加盟) ・ゲートボール協会

成果指標

指標名	各種団体が行った大会・講習会等事業数	単位	回
指標の説明	各種団体が行った大会・講習会等の事業数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	102	93	97

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 各団体の活動を通して、さまざまな年代の健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図る上で重要な役割を担っている為、今後も継続して活動への支援等を行う。 少子化による構成人数減少等による指導者の不足や組織の高齢化等の課題のある団体が増加していることから、人材の確保及び事業の見直し等が必要となっている。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	623-01-01		
事務事業名		総合スポーツセンター管理運営事務事業			事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課			連絡先	内線4415	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10 教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実			項	6 保健体育費
						目	3 体育施設管理運営費
対象(誰を・何を)		羽曳野市立総合スポーツセンター(はびきのコロセラム)					
目的(どうしたいか)		適正な管理運営を行い利用の促進等を図ることで、スポーツを振興するとともに、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。					
手段(事業内容)		管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)					

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	136,542	202,196	301,268
人件費	2,267	3,415	3,373
総事業費	138,809	205,611	304,641
うち市負担分	134,452	201,416	300,241

元年度決算主な内訳
【事業費】令和元年度
指定管理料 116,882千円
修繕費 1,134千円
機器備上料 7,133千円
設計委託料 3,074千円
施設整備費 68,500千円
庁用器具費 5,475千円
【特定財源】
総合スポーツセンター教室参加料 4,195千円

活動指標

指標名	開館日数	単位	日
指標の説明	1年間の施設の開館日数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	359	335	298

参考数値
【休館日】12月29日～1月3日
※臨時休館(感染拡大防止)
令和2年3月7日～5月31日
【利用者数】
(平成27年度 369,668人)
(平成28年度 413,889人)
(平成29年度 370,610人)
(平成30年度 368,748人)
(令和元年度 336,677人)

成果指標

指標名	施設利用者数	単位	人
指標の説明	1年間の施設の利用者数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	368748	336,677	300,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 民間企業の経営ノウハウを活用した施設の管理運営には、一定、効果が認められるものの、指定期間や募集形態については、今後、改善の余地がある。 また、施設の老朽化により、大型空調機の更新、照明設備のLED化等、順次設備の更新を行っているが、今後も電気系統や水回りの設備の更新がの必要性が高まっている。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年3月上旬から5月末まで臨時休館し、その後は各種ガイドライン等の基づいた感染防止対策を講じ施設運営を行っている。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	623-01-02	
事務事業名		体育施設管理事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4415	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10 教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		項	6 保健体育費
対象(誰を・何を)		羽曳野市直営スポーツ施設(石川スポーツ公園、G G場、中央スポーツ公園、陵南の森運動広場、羽曳が丘テニスコート、茶山テニスコート)				
目的(どうしたいか)		施設の適正な管理を行うことで、生涯スポーツの場を提供し、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る。				
手段(事業内容)		施設の維持管理				

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	21,672	23,810	25,242
人件費	14,726	15,241	14,547
総事業費	36,398	39,051	39,789
うち市負担分	19,625	21,597	23,269

元年度決算主な内訳
【事業費】 (光熱水費) 3,466千円 (業務委託料) 17,911千円 (修繕費) 2,011千円 (庁用器具費) 422千円 【特定財源】 施設使用料: 17,454千円
参考数値
(各施設延べ利用者数) 石川スポーツ公園: 84,361人 陵南の森運動広場: 24,786人 羽曳が丘テニスコート: 6,983人 グラウンド・ゴルフ場: 43,496人 中央スポーツ公園: 22,696人 茶山テニスコート: 3,909人

活動指標

指標名	業務委託数	単位	件
指標の説明	施設を適正に維持管理するために行った業務の委託数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	11	11	11

成果指標

指標名	施設全体の合計利用者数	単位	人
指標の説明	1年間の延べ利用者数(市直営のスポーツ6施設合計)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	208972	186,231	190,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 体育施設の管理に関し、本市のスポーツ振興として、現状の修繕費やグラウンド整備等に係る職員の人件費は概ね妥当である。今後の課題として、各施設において、それぞれ老朽化に対応した多額の修繕費が想定されることから、市の上位計画との整合性を図りながら、具体的な事案の洗い出しを行い、計画的な修繕計画を策定していく必要がある。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	623-01-03	
事務事業名		体育施設運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4415	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10 教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		項	6 保健体育費
					目	3 体育施設管理運営費
対象(誰を・何を)		羽曳野市直営スポーツ施設(石川スポーツ公園、GG場、中央スポーツ公園、陵南の森運動広場、羽曳が丘テニスコート、茶山テニスコート)				
目的(どうしたいか)		施設の適正な運営を行うことで、生涯スポーツの場を提供し、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る。				
手段(事業内容)		市職員による利用者対応				

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	1,559	1,225	1,798
人件費	12,383	11,826	11,924
総事業費	13,942	13,051	13,722
うち市負担分	13,942	13,051	13,722

元年度決算主な内訳
(消耗品) 449千円 (砂代) 322千円 (原材料費) 253千円 (大会負担金) 30千円 (保険料) 11千円 (印刷製本費) 65千円 (電話料) 88千円 (複写機保守) 6千円 (医薬材料費) 1千円

活動指標

指標名	開館・開場・開園日数	単位	日
指標の説明	各施設の開館・開場及び開園の日数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	359	360	317

成果指標

指標名	施設全体の合計利用者数	単位	人
指標の説明	1年間の延べ利用者数(市直営のスポーツ5施設合計)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	208972	186,231	190,000

参考数値
(各施設延べ利用者数) 石川スポーツ公園: 84,361人 陵南の森運動広場: 24,786人 羽曳が丘テニスコート: 6,983人 グラウンド・ゴルフ場: 38,049人 中央スポーツ公園: 22,696人 茶山テニスコート: 3,909人 【休館日】12月29日～1月3日 ※臨時休館(感染拡大防止) 令和2年4月13日～5月24日

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市直営の体育施設には、無料施設として石川スポーツ公園、陵南の森運動広場、有料施設として羽曳が丘テニスコート、健康ふれあいの郷グラウンド・ゴルフ場、中央スポーツ公園、茶山テニスコートがあり、有料施設の管理形態としては、会計年度職員等による市職員での管理のほか、事業者へ委託し施設の運用を行っている。 今後の課題としては、業務委託にて施設管理を行っている施設について、「適正な施設管理という観点」を鑑み、指定管理者制度の導入を含め、施設の運用形態を検討する必要がある。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年4月中旬から5月下旬まで臨時休館し、その後は各種ガイドライン等の基づいた感染防止対策を講じ施設運営を行っている。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	623-01-04				
事務事業名		市民体育館等管理運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4415		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10	教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		項	6	保健体育費
					目	3	体育施設管理運営費
対象(誰を・何を)		スポーツ2施設(市民体育館、市民体育館テニスコート)					
目的(どうしたいか)		適正な管理運営を行い利用の促進等を図ることで、スポーツを振興するとともに、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。					
手段(事業内容)		管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)					

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	16,913	15,558	15,667
人件費	1,512	1,138	1,124
総事業費	18,425	16,696	16,791
うち市負担分	18,425	16,696	16,791

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
令和元年度	
指定管理料	12,204千円
土地借上料	3,354千円

活動指標

指標名	開館日数	単位	日
指標の説明	1年間の施設の開館日数(通常は休館は年末年始の6日間)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	359	335	298

参考数値	
【休館日】	12月29日～1月3日
※臨時休館(感染拡大防止)	令和2年3月7日～5月31日
【利用者数】	人
(平成29年度)	体育館:53,536 テニス:22,380 プール:24,419
(平成30年度)	体育館:54,899 テニス:23,737
(令和元年度)	体育館:53,664 テニス:24,348

成果指標

指標名	施設利用者数	単位	人
指標の説明	1年間の施設の利用者数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	78636	78,012	67,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 民間企業の経営ノウハウを活用した施設の管理運営には、一定、効果が認められるものの、指定期間や募集形態については、今後、改善の余地がある。 また、市民体育館については老朽化がかなり進んでおり、今後、施設のあり方を含めて検討すべき施設である。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年3月上旬から5月末まで臨時休館し、その後は各種ガイドライン等の基づいた感染防止対策を講じ施設運営を行っている。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	623-01-05
事務事業名		グレープヒルスポーツ公園等管理運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4415
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款 10 教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		項 6 保健体育費
対象(誰を・何を)		スポーツ2施設(グレープヒルスポーツ公園、駒ヶ谷テニスコート)			
目的(どうしたいか)		適正な管理運営を行い利用の促進等を図ることで、スポーツを振興するとともに、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。			
手段(事業内容)		管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)			

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	13,246	14,997	13,989
人件費	1,134	759	750
総事業費	14,380	15,756	14,739
うち市負担分	14,380	15,756	14,739

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
指定管理料	12,566千円
修繕費	781千円
土地借上料	1,310千円
設計委託料	341千円

活動指標

指標名	開館日数	単位	日
指標の説明	1年間の施設の開場日数(通常の休場は年末年始の6日間)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	359	360	317

参考数値	
【休館日】	12月29日～1月3日
※臨時休館(感染拡大防止)	令和2年4月13日～5月24日
【利用者数】人	
(平成29年度)	グレープ:48,569 駒ヶ谷:8,012
(平成30年度)	グレープ:48,800 駒ヶ谷:7,626
(令和元年度)	グレープ:46,570 駒ヶ谷:7,858

成果指標

指標名	施設利用者数	単位	人
指標の説明	1年間の施設の利用者数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	56,426	54,428	49,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 民間企業の経営ノウハウを活用した施設の管理運営には、一定、効果が認められるものの、指定期間や募集形態については、今後、改善の余地がある。 スポーツ2施設については、施設の老朽化が進んでいる。特に駒ヶ谷テニスコートの老朽化が顕著であるが、本市で唯一のナイター設備のあるテニスコートであり、テニス教室の参加者が増加し、市民ニーズも踏まえて、改修・修繕等を計画的に進めていく必要がある。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年4月中旬から5月下旬まで臨時休館し、その後は各種ガイドライン等の基づいた感染防止対策を講じ施設運営を行っている。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		623-01-06	
事務事業名		スポーツ施設利用予約システム運営事務事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先 内線4412	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款 10 教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		項 6 保健体育費
					目 1 保健体育総務費
対象(誰を・何を)		羽曳野市民及び羽曳野市外利用者			
目的(どうしたいか)		スポーツ施設予約システムを整備することにより、スポーツ施設の利用予約や利用料金の支払い等の利便性の向上を図り、スポーツ施設の利用を促進する。			
手段(事業内容)		自宅等のパソコンやスマートフォン等からインターネットを利用することにより、スポーツ施設の空き情報の照会や利用申込・取消し等を可能とする。また、利用料金の口座振替により支払いの利便性の向上を図る。			

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	3,688	4,644	8,576
人件費	1,398	1,968	2,241
総事業費	5,086	6,612	10,817
うち市負担分	4,941	6,512	10,717

元年度決算主な内訳
【事業費】 口座振替分割統合処理料: 35千円 システム運用委託料: 1,335千円 システム電算機借上料: 2,010千円 システム改修委託料: 1,265千円
【特定財源】 システム登録・更新・再交付手数料: 100千円

活動指標

指標名	システム稼働日数	単位	日
指標の説明	スポーツ施設予約システムの稼働日数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	365	366	365

参考数値

成果指標

指標名	スポーツ施設予約システム登録件数	単位	件
指標の説明	スポーツ施設予約システムの登録件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	1117	1,050	1,100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 インターネットを活用した空き情報照会や利用予約、抽選機能、口座振替による利用料金の支払いなどにより、利用者の利便性を向上しており、本システムの運用は市民のスポーツ施設の利用の促進に大きな役割を担っている。 なお、より市民の施設利用を促進するため、平成28年6月より市内登録者と市外登録者の施設予約可能時期に差を設け、羽曳野市内在住・在勤・在学者が優先して施設を利用出来る仕様に変更するとともに、平成29年4月からは、システムの導入から一定の年数が経過し、当初の利用者登録内容の確認・変更の必要性が高まったため、登録日から3年毎に本人確認・住所確認等を確認する更新手続きを設けるなど、公平性を高める運用変更を行った。 また、令和2年6月よりシステムサーバーのクラウド化を行い、運用経費の削減を図る。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	623-02-01	
事務事業名		学校体育施設開放事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4413	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10 教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		項	6 保健体育費
					目	1 保健体育総務費
対象(誰を・何を)		スポーツ・レクリエーション団体等				
目的(どうしたいか)		学校教育に支障のない範囲で小中学校のグラウンド、体育館、プール等を開放することにより、市民にスポーツやレクリエーション等に親しむ場を提供する。				
手段(事業内容)		市内居住・通学・通勤する者10名以上で構成する団体を対象に、毎年度、利用団体登録を行った上で、当該団体から月単位で利用申請書の提出を受け、夜間や休日等、学校教育に支障がないと認めた日時の体育施設の利用承認を行う。				

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	2,532	2,415	2,772
総事業費	2,532	2,415	2,772
うち市負担分	2,532	2,415	2,772

元年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】

活動指標

指標名	開放小中学校等数	単位	開放校
指標の説明	学校体育施設を開放している小・中・義務教育学校の数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	18	18	18

参考数値

成果指標

指標名	利用実績延べ人数	単位	人
指標の説明	学校体育施設を利用した延べ人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	216,154	207,128	150,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民へのスポーツ活動の環境等を提供する事業として、利用者が年々増加しており一定の成果をだしている。しかしながら利用希望者の増加に伴い、希望に見合う利用が困難な学校施設も増加してきており、利用希望者に平等に施設を提供できるよう利用調整等の仕組みの見直しが必要となってきた。そうしたことから、令和2年度に向け説明会を行い、遵守事項の確認や一定の利用調整を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年3月3日から事業を中止し、屋外施設は6月21日から、屋内施設7月1日から、参加者名簿の作成、利用後の施設の消毒等、一定の感染防止対策を行った上で開放を行っている。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		623-03-02			
事務事業名		市民プール整備事業		事務の種類			
				自治事務(任意のもの)			
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先			
				内線4415			
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10	教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		項	6	保健体育費
					目	3	体育施設管理運営費
対象(誰を・何を)		羽曳野市立市民プール					
目的(どうしたいか)		子どもから大人まで楽しむことが出来るプール施設を整備することで、地域のレクリエーションの場を提供する。					
手段(事業内容)		西浦市民プールの老朽化に伴い、それに替わり中央スポーツ公園内に新たに市民プールの整備を行う。					

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	71,455	230,723	34,266
人件費	3	2,277	2,624
総事業費	71,458	233,000	36,890
うち市負担分	7,158	35,300	6,090

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
管理棟整備工事	209,948千円
管理棟工事監理	9,800千円
屋内プール配置計画	800千円
屋内プール設計	7,600千円
備品購入費	2,357千円
【特定財源】	
市民プール整備事業債	197,700千円

活動指標

指標名	市民プール利用者数	単位	人
指標の説明	市民プールの来場者数 ※平成29年度は西浦市民プール。 ※令和元年度は、代替えとしてプール開放事業		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	0	3,251	4,000

参考数値	
(令和元年度)プール開放事業	
・はびきの植生学園 (中央スポーツ公園)	
期 間:	8/1~8/31
利用人数:	1,684名
・駒ヶ谷小学校	
期 間:	8/2~8/18
利用人数:	1,567名

成果指標

指標名	整備率	単位	%
指標の説明	整備が完了した比率		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	5	20	30

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 本市の市民プール施設は、多くの方に利用される施設であり、地域スポーツの振興においても欠かすことの出来ない施設であるが、平成29年度の運用を最後に老朽化により廃止となった。 新たな市民プール施設の整備については、市立中央スポーツ公園内のはびきの植生学園プール用地を活用し行うこととし、整備内容については、事務室や更衣室等を備えた管理棟の建設や歩道の整備を主とした第1期整備、プール施設の整備を主とした第2期整備とに分け事業を実施している。第1期整備については、令和元年度に完了し、現在、第2期整備事業を進めている。 なお、令和元年からプール完成までの間、その代替えとして市内2か所の学校プールを無料開放するプール開放事業を実施しているが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止する。